

東都化成エポキシ樹脂事業の新日鐵化学への統合について

新日鐵化学株式会社（社長：二村文友、以下「新日鐵化学」）と東都化成株式会社（社長：安永博、新日鐵化学の完全子会社、以下「東都化成」）は、東都化成のエポキシ樹脂事業（以下「エポキシ樹脂事業」）を、分社型吸収分割により新日鐵化学に統合することについて、この度基本合意に至りましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 統合の目的

東都化成は、平成 15 年 3 月に新日鐵化学の完全子会社となって以来、新日鐵化学グループの一翼を担い事業体質の強化に取り組んで参りました。高機能エポキシ樹脂であるノンハロ難燃樹脂、フェノキシ樹脂など、電子材料用樹脂分野での強化戦略が一定の成果を上げつつありますが、ユーザー産業界の更なる高機能化ニーズやアジアを中心とする海外での需要拡大などの新しい事業機会を捉え、事業推進体制の一層の強化・効率向上を狙いとして、新日鐵化学へ事業を統合することと致しました。

新日鐵化学グループは、今般作成した 2020 年を目標年次とする「グランドデザイン」において、機能材料事業として売上高 2000 億円への事業拡大を目指すことと致しております。今回の施策はその具体策の一つであり、エポキシ樹脂事業の体制整備を図り、機能材料事業の中核に位置付け、当該事業の戦略的強化を狙うものです。

今後、関連会社である韓国の国都化学株式会社（世界トップクラスのエポキシ樹脂メーカー）との連携強化を更に進め、事業規模と製品ラインナップでアジアトップレベルの業界プレゼンスの達成を目標に、エポキシ樹脂事業の強化に取り組んで参ります。

2. 統合対象事業

東都化成の製造機能（神戸工場、千葉工場、三田工場）を除くエポキシ樹脂事業の全て（企画、開発、営業機能など）を対象とします。製造は引き続き東都化成（新日化エポキシ製造株式会社に社名変更予定）が担当します。

3. 統合予定期日：平成 22 年 4 月 1 日

4. 統合方式

分社型吸収分割により、東都化成から新日鐵化学に承継します。

5. 東都化成の概要

本店 : 東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX13F
売上高 : 約 165 億円（平成 21 年 3 月期）
従業員 : 約 280 名
事業内容 : エポキシ樹脂の製造、加工、販売

以上